

授 業 概 要 (シラバス)

科目名	解剖学 (2) 単位	講師名	諏訪 文彦 先生	
学年	1 学年	総授業時間数	76 時間	
授業概要	人体の構造と機能について学習 (学修) する。			
授業到達目標	人体の構造について簡単に説明ができるになる。			
成績評価基準 評価方法	筆記試験。出席状態・授業態度、課題の提出などで総合的に判断する。			
使用テキスト	学生のための解剖・組織・発生学 医歯薬出版			
その他 (特記事項)				
授 業 計 画 表	1回目	解剖学総論 (組織・発生学を含む)	11回目	神経系 (中枢神経系)
	2回目	組織学各論 (細胞 上皮・結合組織)	12回目	神経系 (末梢神経系)
	3回目	組織学各論 (筋・神経組織)	13回目	神経系 (末梢神経系)
	4回目	骨系	14回目	感覚器系
	5回目	筋系	15回目	試験
	6回目	消化器系	16回目	骨実習
	7回目	消化器系	17回目	組織実習
	8回目	循環 (脈管) 系	18回目	遺体見学実習
	9回目	内分泌系	19回目	遺体見学実習
	10回目	呼吸・泌尿生殖器系		

授 業 概 要 (シラバス)

科目名	口腔解剖学 (3) 単位		講師名	松田哲史 先生
学年	1 学年		総授業時間数	60 時間
授業概要	口腔解剖は歯科衛生士にとって、必ず理解していなければならないもので、名称を理解することは専門職の人々との共通の認識をもつことになる。また、口腔組織を理解することは、患者さんへの説明のツールとなるものである。			
授業到達目標	歯科医学の基本知識である歯の種類、歯の形態、方向用語などを知識とすること、また歯を構成する組織の構造を理解することを目的とする。			
成績評価基準 評価方法	筆記試験に各種提出物を加味して総合的に評価する。			
使用テキスト	①最新 歯科衛生士教本 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学 口腔組織発生学 口腔生理学 ②基礎から学ぶ歯の解剖			
その他 (特記事項)				
授業計画表	1回目	口腔解剖総論	9回目	歯の発生
	2回目	口腔解剖総論	10回目	エナメル質
	3回目	永久歯(切歯)	11回目	象牙質・歯髄
	4回目	永久歯(犬歯・小臼歯)	12回目	歯周組織
	5回目	永久歯(小臼歯・大臼歯)	13回目	歯周組織
	6回目	永久歯(大臼歯)	14回目	顕微鏡実習
	7回目	永久歯(大臼歯)咬合	15回目	顕微鏡実習
	8回目	乳歯異常		

授 業 概 要 (シラバス)

科目名	生理学 (1) 単位	講師名	西川泰央 先生
学年	1 学年	総授業時間数	30 時間
授業概要	ヒトの生命現象は、精巧なメカニズムによって生体のホメオスタシスを維持し、生体機能を発揮している。細胞の機能、末梢から中枢までの神経機能、機能別に分類された臓器の生理機能、感覚機能・運動機能を講義する。		
授業到達目標	各組織、器官の精緻なシステムとしての人体機能について基礎的知識を修得し、人体の構造と機能を十分理解する能力を身につける。		
成績評価基準 評価方法	試験で60%以上得点し、なおかつ出席状況、授業態度などを加味して総合的に判定する。		
使用テキスト	歯科衛生士テキスト 生理学 学建書院		
その他 (特記事項)	小テストを適時実施する。		
授業計画表	1回目	生理学の意義 細胞の構造物の機能	
	2回目	血液、組織液およびリンパ液 生体の緩衝系	
	3回目	血液循環 心筋の特性 リンパ循環	
	4回目	呼吸 消化および吸収	
	5回目	尿の生成および排出 代謝 体温	
	6回目	内分泌 生殖	
	7回目	筋 神経	
	8回目 90分	感覚	

授 業 概 要 (シラバス)

科目名	口腔外科学 (1) 単位	講師名	松島由紀 先生
学年	2 学年	総授業時間数	28 時間
授業概要	口腔外科学は、口腔・顎顔面領域の疾患および口腔に関連する全身疾患について、原因、病態、治療などを学ぶ分野である。また、患者の全身状態の把握、観血処置を中心とした治療の介助に必要な知識の習得を目標とする。		
授業到達目標	口腔・顎顔面領域に発生する疾患の病状、診断および治療法について理解する。口腔外科手術（抜歯、嚢胞摘出や消炎手術等）の基本手技と適切な介助法を習得する。		
成績評価基準 評価方法	出席状況、授業態度および単位試験により総合的に合否を判定する。		
使用テキスト	最新歯科衛生士教本 顎・口腔粘膜疾患 口腔外科・歯科麻酔 医歯薬出版		
その他 (特記事項)	広範囲な分野ですが、テキストを利用して復習し理解できるよう努めて下さい。		
授 業 計 画 表	1回目	<ul style="list-style-type: none"> ・総 論 : 口腔・顎顔面領域に発生する疾患についての概説 ・先天異常: 顎・口腔領域の先天異常、発育異常について 	
	2回目	<ul style="list-style-type: none"> ・外 傷: 軟組織の損傷、歯の外傷および顎骨骨折について ・顎関節疾患: 顎関節脱臼、顎関節症について 	
	3回目	<ul style="list-style-type: none"> ・嚢 胞: 顎骨内に発生する嚢胞（歯原性・非歯原性）、軟組織に発生する嚢胞について 	
	4回目	<ul style="list-style-type: none"> ・腫 瘍: 良性腫瘍（歯原性腫瘍、非歯原性腫瘍、腫瘍類似疾患）、悪性腫瘍について 	
	5回目	<ul style="list-style-type: none"> ・粘膜疾患: 口腔粘膜に生じる疾患（水疱形成、紅斑およびびらん、潰瘍、白斑を主徴とする）、全身疾患に関連して生じる粘膜病変について 	
	6回目	<ul style="list-style-type: none"> ・唾液腺疾患: 唾液腺に生じる疾患（唾石症、唾液腺の炎症、シェーグレン症候群、唾液腺腫瘍）について ・神経疾患: 三叉神経痛、顔面神経麻痺について 	
	7回目	<ul style="list-style-type: none"> ・小手術: 抜歯、嚢胞摘出術および消炎手術に必要な器具、術式および介助について 	

授 業 概 要 (シラバス)

科目名	病理学・口腔病理学 (2) 単位		講師名	木村 彩子 先生
学年	1 学年		総授業時間数	60 時間
授業概要	病理学では、病気とは何かを学びます。すなわち、病気とは正常な形態や機能を逸脱した状態で、病気の原因（病因）、どのようにして発生するのか（発生機序）、どの部位に発生しやすいのか（好発）、どのような特徴があるのか（所見）、病気の結果どうなるのか（予後）について学びます。			
授業到達目標	病気の原因を学んだのち、歯・顎・顔面・口腔領域に発生する病気（疾患）の理解と臨床での予防と治療につなげることを目標とします。			
成績評価基準 評価方法	授業への参加度、中間試験・単位試験にて評価します。			
使用テキスト	新・歯科衛生士教育マニュアル「Pathology病理学」クインテッセンス出版			
その他 (特記事項)	組織学、解剖学の復習。 欠席した場合は、その項目のレポートを提出。			
授 業 計 画 表	1回目	病理学概論 病因論	9回目	歯の沈着物と着色 う蝕
	2回目	先天異常 循環障害	10回目	象牙質・セメント質の増生 歯髄の病変
	3回目	代謝障害 増殖と修復	11回目	歯周組織の病変 口腔の創傷治療
	4回目	炎 症	12回目	口腔粘膜の病変 エプーリス 口腔領域の奇形
	5回目	免疫と免疫異常	13回目	顎骨の病変 口腔領域の嚢胞
	6回目	腫瘍 I	14回目	歯原性腫瘍 非歯原性腫瘍
	7回目	腫瘍 II、中間試験	15回目	唾液腺の疾患 総復習
	8回目	歯の異常 歯の機械的損傷、化学的損傷		

授 業 概 要 (シラバス)

科目名	口腔治療学 (1) 単位	講師名	馬場忠彦 先生
学年	2学年	総授業時間数	28 時間
授業概要	歯髄疾患および根尖性歯周疾患の臨床的症狀, 多くの検査法とその特徴, 適切な診断と治療法の選択ならびに治療器具などについて解説を行う。		
授業到達目標	歯髄疾患および根尖性歯周疾患の臨床的症狀, 検査法および治療法が説明できる。		
成績評価基準 評価方法	授業態度 (主に出席状況), レポートの提出状況および講義後の試験結果などについて総合的に評価を行う。		
使用テキスト	医歯薬出版株式会社 2018年1月20日 第1版第10刷発行 最新歯科衛生士教本 歯の硬組織・歯髄疾患-保存修復・歯内療法 ISBN978-4-263-42820-7 4200円税		
その他 (特記事項)			
授業計画表	1回目	1. 歯内療法 (治療) 学の概要 2. 歯内療法 (治療) における歯および根尖周囲組織について 3. 歯髄疾患の概略および分類	
	2回目	1. 歯髄疾患に対する検査法および歯髄疾患の臨床症狀 2. 歯髄疾患の治療法 1) 歯髄保存療法	
	3回目	1. 歯髄疾患の治療法 2) 歯髄の一部除去療法 (生活歯髄切断) 2. アペキシゲネーシス	
	4回目	1. 歯髄疾患の治療法 3) 歯髄の全部除去療法と根管充填 2. 根尖性歯周疾患と感染根管の概略 3. 根尖性歯周疾患の原因と分類	
	5回目	1. 根尖性歯周疾患の臨床症狀 2. 根尖性歯周疾患の治療法; 感染根管治療 1) 根管の拡大・清掃・消毒 2) 仮封	
	6回目	1. 根尖性歯周疾患の治療法 3) 根管内細菌培養検査と根管充填 2. アペキシフィケーション 3. 歯の外傷および歯内療法 (治療) における安全対策 (偶発事故)	
	7回目	1. ラバーダム防湿 2. 外科的歯内療法および歯内療法における顕微鏡 (マイクロスコープ)	

授 業 概 要 (シラバス)

科目名	歯周病学 (1) 単位	講師名	津守 紀昌 先生
学年	1 学年	総授業時間数	28 時間
授業概要	歯周疾患とは歯周組織に現われるすべての疾患を意味する。そこで本疾患の病態、発病、経過あるいは治療法などについて授業する		
授業到達目標	本授業では歯周疾患の分類、病態、病因、予防、治療およびメンテナンスなど臨床分野を中心に履修させ、歯周病の臨床を理解させることを目標とする。		
成績評価基準 評価方法	毎回の授業終了前に試験を行い評価を行う		
使用テキスト	最新 歯科衛生士教本 歯周病学 (医歯出版)		
その他 (特記事項)			
授業計画表	1回目	歯周疾患の病態について	
	2回目	歯周疾患の病因と発病因子について	
	3回目	歯周疾患の分類と主要徴候について	
	4回目	歯周疾患の診査と判断について	
	5回目	歯周疾患の治療計画と歯周基本治療について	
	6回目	歯周外科治療について	
	7回目	歯周疾患の予防とメンテナンスについて	

授 業 概 要 (シラバス)

科目名	歯科補綴学 (1) 単位	講師名	岡本 吉宏 先生
学年	1 学年	総授業時間数	28 時間
授業概要	初めに歯科補綴学の概要、臨床に必要な専門用語を含む基礎知識について講義を行う。 その後、臨床的な治療の流れと補綴治療に伴う患者指導についての講義を行う。 この講義により臨床に応用できる知識を習得する。		
授業到達目標	歯質・歯列の欠損に対する修復（補綴）の臨床的意義と方法を理解する。 補綴治療後の術後管理について理解する。		
成績評価基準 評価方法	出席状況、講義態度、筆記試験の結果を総合的に評価する。		
使用テキスト	最新歯科衛生士教本 咀嚼障害・咬合異常1 歯科補綴学 医歯薬出版		
その他 (特記事項)			
授業計画表	1回目	歯科補綴の概要 歯科補綴の意義と目的・補綴装置について	
	2回目	補綴治療にかかわる基礎知識 歯と歯列・口腔の機能・咬合と下顎位	
	3回目	歯科補綴治療の欠損に伴う障害と補綴治療 歯の欠損・喪失に伴う変化・顎関節とその異常	
	4回目	クラウンとブリッジの臨床ステップ 臨床ステップ・患者指導	
	5回目	クラウンとブリッジの臨床ステップ 臨床ステップ・患者指導	
	6回目	床義歯の基礎知識 義歯の構成と種類・維持と支持	
	7回目	床義歯の臨床ステップ 臨床ステップ・患者指導	

授 業 概 要 (シラバス)

科目名	矯正歯科学 (1) 単位	講師名	中山 雄司 先生
学年	2 学年	総授業時間数	28 時間
授業概要	歯科矯正学の基礎、歯科衛生士の役割などについて、視覚素材を使用しながら授業をすすめていく。		
授業到達目標	歯科衛生士として必要な歯科矯正学の知識を修得し、歯科保健指導を行うことができる。		
成績評価基準 評価方法	定期試験の結果に受講態度を加味しておこなう。		
使用テキスト	最新歯科衛生士教本 咀嚼障害・咬合異常 2 歯科矯正 / 医歯薬出版		
その他 (特記事項)	幼児期・学童期・思春期・成長期等さまざまなステージを対象とする学問である。対象とする人・口腔を頭に描きながら学習することを希望する。		
授業計画表	1回目	歯科矯正学概論 顎顔面、歯・歯列の成長発育	
	2回目	正常咬合、不正咬合の種類と分類 不正咬合の原因、口腔習癖と MFT	
	3回目	矯正診断に必要な資料と診断、矯正力と歯の移動	
	4回目	矯正装置・保定装置 1、矯正治療の実際 1	
	5回目	矯正装置・保定装置 2、矯正治療の実際 2	
	6回目	矯正治療に用いる器具と材料	
	7回目	矯正歯科における歯科衛生士の役割 チーム医療と矯正歯科治療	